



2月号

平成31年 1月31日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

ハンドメイドな学校

副校長 青島 大受

4月の学校だよりで、天野校長がお伝えした合言葉「ハンドメイド2を目指して」を覚えていただいているでしょうか。ハンドメイドとは、人の手で作り出した「まごころのこもったものごと」や、人と人との「かかわり合い生まれてくるものごと」を大切にしていこうという考え方で、私たち教職員は、このハンドメイドな学校を目指し、子どもたちのために、よりよいと考える教育活動を進めてまいりました。この「ハンドメイドな場面」を紹介します。

5年生が球技大会を終えた次の朝に教室に入ると、4年生が作った手作りのメダルが一人ひとりの机の上に置いてありました。5年生への励ましやねぎらいの気持ちが書かれていて、「うれしかった」、「お礼を言おう」などと笑顔になっていました。また、マーチングバンドの全国大会出場に向けて、言葉やお手紙、掲示物などのたくさんのプレゼントがありました。部員のお子さんに聞いてみると、「今までがんばってきてよかった」「勇気をもらえた」と言っていました。やはり、心が込められたものごとは、人の心を動かすのでしょうか。もうすぐ卒業を控えた6年生にも、たくさんのハンドメイドの贈り物があることと思います。今後も、このような自然と生まれてくる気持ちを大切に育んでいきます。

3年生の国語科に「すがたを変える大豆」という教科書教材があります。身近な食材である大豆が様々な料理に形を変えて使われているという内容を中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、理解していくという学習ですが、体験的に理解を深めてもらいたいという思いで、日本醤油協会の方をお招きしました。子どもたちは、醤油作りの「プロ」に出会い「本物」の大豆や小麦、麴などにふれ、「友達」とかかわり合いました。すると、

「こんなに(小さくて)固いんだ。」

「ポップコーンができるかも。」

「違うよ、それは、とうもろこしだよ。」

「トウモロコシも大豆も朝顔も、みんな種が固いね。」

「きっと、中のものを守るためだよ。」

「何から守るの?」……と会話がつながり、新たな気づきや思考が生まれてきました。

子どもたちは、かかわり合いを通して多くの事を学んでいきます。時には、子どもたちどうしのかかわり合いが、すれ違い、行きすぎ、間違ってしまうこともあるかと思いますが、子どもたちは人とのかかわり合いを通して、ぬくもりを感じるとともに、深い学びを得ていきます。この「ぬくもり」や「深い学び」を感じられるような教育活動を、今後も、教職員一同、ラストスパートをかけて推進してまいります。

